ご　あ　い　さ　つ

このたびは、魔法株式会社の「甲子園V」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
プレイの前にこの解説書をお読みいただき、正しい使用方法をお知りいただきますと、より一層ゲームをお楽しみいただくことができます。
また、プレイステーション本体のお取扱いについては、本体付属の取扱説明書をご覧になってください。
なお、この解説書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

For Japan Only

プレイヤー 1-2人

メモリーカード 2ブロック

SLPS 00729

もくじ

● 基本的なコントローラの操作

セレクト画面、デモ画面での基本的なコントローラの操作は以下のようになります。



■方向キー	カーソルの移動、画面のスクロール、項目の選択	■△ボタン	漢字変換（名前エディット）、発音をのばす（音声エディット）
■○ボタン	選択の決定、メッセージのスキップ	■□ボタン	カメラアングルなどの特殊操作（フォームエディット）
■×ボタン	選択のキャンセル、画面のキャンセル	■STARTボタン	ムービーのスキップ
		■SELECTボタン	コンピュータ同士の対戦時に、カメラアングルの変更

試合中のコントローラの操作（→P.24/25）

● ゲームのはじめ方

「甲子園V」のディスクをプレイステーション本体にセットして、電源を入れてください。タイトルデモ画面の後、モードセレクト画面になります。プレイするゲームモードを選択してください。

大会モード （1人）春、夏の甲子園大会優勝を目指してプレイするモードです。（→P.6）

対戦モード （1人～2人）1試合だけの対戦プレイをするモードです。（→P.21）

サウンド サウンドの【ステレオ】／【モノラル】の切り替えを行います。



★ゲームの進行★

大会モードは、1997年4月1日からスタートします。メインメニュー画面（→P.7）で【大会】／【練習試合】／【トレーニング】を選択すると、予定されているスケジュールをこなして、日付が進行していきます。1年には春の大会、夏の大会の2つがあり、それぞれ地区大会（ブロック大会）を勝ち抜くと甲子園大会に出場することができます。
甲子園に遠征しているときをのぞいて、月曜日から土曜日まではトレーニングをします。日曜日には地区大会（ブロック大会）の試合や、練習試合などの試合のスケジュールが組み込まれ、試合のない日曜日は休みになります。

このような流れで1年間をプレイします。1年が経過するごとに、3年生が卒業して1年生が入学します。

※夏の大会を終了した時点で、3年生は、公式戦（秋季地区大会、ブロック大会、選抜高校野球大会）には出場できなくなります。

● 大会モード

春、夏の甲子園大会優勝を目指してプレイするモードです。

ゲームの目的

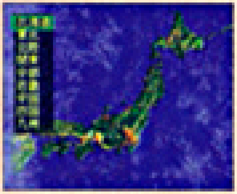
全国4089校の中から1校を選択し、トレーニングや練習試合などで野球部を育成します。育成したチームで大会に挑み、地区大会を勝ち抜いて甲子園大会出場、そして優勝を目指します。
春、夏両方の甲子園大会に優勝すると、ゲームはエンディングとなりますが、その後も何年でもつづけてプレイすることができます。
まず、ゲームをどこからプレイするかを選択してください。

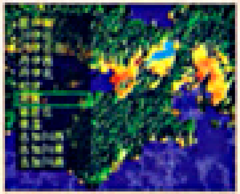


はじめから ゲームをはじめからプレイします。地区セレクト、高校セレクトで全国から1校を選択します。

■地区セレクト 地区を選択します。地図を見ながら、ブロックを選択してください。

■高校セレクト 高校を選択します。選択したブロックの中から、1校を選択してください。

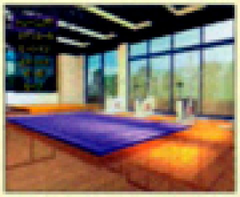




データロード セーブしたところから、つづきをプレイします。(→P.20)

● メインメニュー

高校の選択が終わると、部室（大会モードのメインメニュー画面）に入ります。



大会 / 練習試合 / トレーニング　日によって項目名が変化します。

■大会（地区大会）　大会の日程にしたがって、日曜日ごとに地区大会（ブロック大会）の試合をします。甲子園大会に出場するときは、チームは遠征をします。(→P.8)

■練習試合　公式戦の予定がない月は、練習試合があります。(→P.10)

■トレーニング　月曜日から土曜日は、トレーニングをします。(→P.11)

スケジュール　その月のスケジュールを見ることができます。(→P.8)

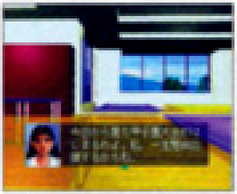
モーション　ピッチャーのフォームやにぎりをエディットします。(→P.14)

エディット　選手の名前やユニフォームなどをエディットします。(→P.16)

データ　選手やチームのデータ、大会記録を見ることができます。(→P.18)

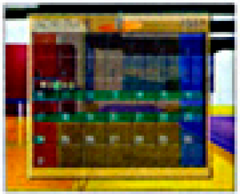
セーブ　データをセーブします。(→P.20)

★監督/マネージャー★　部室では、監督とマネージャーのメッセージが表示されます。監督は、試合での対戦相手校の分析や作戦指示などをしてくれます。マネージャーはスケジュールやイベントの説明をしてくれます。メッセージは、○ボタンで先送りすることができます。



● スケジュール

部室で【スケジュール】を選択すると、その月のスケジュールを見ることができます。
白くかこまれているのが、今日の日付です。
日付の下にマークが入っている日が試合の予定日です。



● 大会

大会には、春の大会と夏の大会の2つの大会があり、以下のような日程で試合が行われます。

3月	選抜高校野球大会 （春の甲子園大会）
7月	地区大会
8月	全国高校野球選手権大会 （夏の甲子園大会）
10月	秋季地区大会
11月	秋季ブロック大会

春、夏の甲子園大会に参加している間は、旅館がメインメニュー画面になります。部室とはちがって、選択できるコマンドは【大会】/【データ】/【セーブ】の3つになります。

大　会　甲子園大会の試合をします。

デ ー タ　選手やチームのデータ、大会記録を見ることができます。（→P.18）

セ ー ブ　データをセーブすることができます。（→P.20）

大会のシステム 大会の試合はすべてトーナメント形式（→P.8）で行われます。

（→P.8）

■夏の大会　全国49ブロックで地区大会を行い、優勝校1校が全国高校野球選手権大会（夏の甲子園大会）に進出できます。地区大会はベスト16からのスタートとなります。

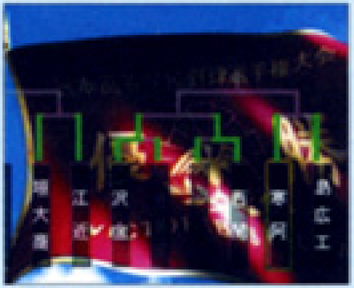
■春の大会　都道府県別に秋季地区大会を行い、決勝に進出した2校が秋季ブロック大会に進出できます。秋季ブロック大会は北海道/東北/関東/東京/東海/北信越/近畿/四国/中国/九州の10ブロックに分かれて行います。北海道、東京の2ブロックに関しては1都道府県だけでブロック大会を行います。秋季ブロック大会の上位進出校の中から全国で32校が選抜高校野球大会（春の甲子園大会）に進出できます。地区大会、ブロック大会の回戦数は、都道府県やブロックによって異なります。

大会ルール 大会では以下のようなルールで試合が行われます。

■夏季地区大会、秋季地区大会、秋季ブロック大会ではコールドゲームの設定があります。5回までに10点差、7回までに7点差がつくとコールドゲームとなります。甲子園大会にコールドゲームの設定はありません。

■延長18回を戦って同点だった場合は、同じ対戦カードで再試合を行います。

トーナメント トーナメント画面で対戦の組合せを見ることができます。



試合の前後にはこのトーナメント画面になります。**方向キー**で、画面を左右にスクロールさせることができます。

● 練習試合

公式戦のない月には、月に１回、練習試合をすることができます。申込のあった高校の中から、対戦相手校を選択してください。練習試合をしないときは、**【休み】**を選択してください。
練習では以下のようなルールで試合が行われます。



■試合は５イニングで行います。

■延長戦はありません。５イニングを戦って同点だった場合は、引き分けとなります。

●トレーニング

甲子園大会に遠征しているときをのぞいて、月曜日から土曜日までの間は、部室でトレーニングをします。トレーニングをすることによって選手の基礎運動能力が成長します。

トレーニング画面

【トレーニング設定】を選択すると、トレーニング設定画面になります。**【部室へ】**を選択すると、部室画面にもどります。

トレーニングの設定



トレーニングメニューを設定することができます。選手にカーソルをあわせて**○ボタン**で選択し、1人ずつのトレーニングメニューを設定してください。
トレーニングは1日に1つのメニューをこなします。トレーニング設定画面では、曜日ごとに1つずつのトレーニングメニューを設定することができます。**方向キーの左右**で曜日を選択し、**上下**でトレーニングメニューを選択してください。設定が終わったら、**【終了】**を選択してください。

トレーニングの実行



【トレーニング開始】を選択すると、設定したメニューの通りにトレーニングをし、日付が進行します。
×ボタンを押すと、トレーニングを中断することができます。日付が試合の予定日になったり、イベントが発生したりしたときは、自動的にトレーニングが中断されます。

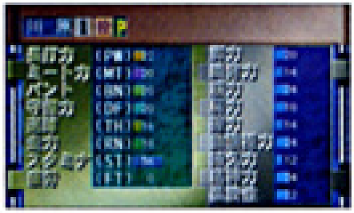
トレーニングメニュー トレーニングメニューはそれぞれ以下のような効果があります。

→	ダッシュ	脚力をアップさせます。
→	キャッチング	瞬発力をアップさせます。
→	筋力トレーニング	筋力をアップさせます。
→	スローイング	肩力をアップさせます。
→	ハンドグリップ	握力をアップさせます。
→	トスバッティング	反射神経をアップさせます。
→	ランニング	持久力をアップさせます。
→	イメージトレーニング	精神力をアップさせます。
→	ストレッチ	柔軟性をアップさせます。
→	シャドウピッチング	筋力、肩力、精神力をアップさせます。
→	ゴムチューブ	肩力、握力、精神力をアップさせます。
→	トレーニングしない	疲労を回復します。

※シャドウピッチングとゴムチューブはピッチャーのみに設定することができます。

★ワンポイントアドバイス★ トレーニングをすると、基礎運動能力がアップする一方、疲労が蓄積されると本来のプレイ能力が発揮できなくなります。トレーニングは疲労の大きなものから順に赤、黄色、青に色分けされています。また、同じ基礎運動能力でも、発揮されるプレイ能力には個人差があります。アップさせたい基礎運動能力と、選手の個性、疲労の度合いを見比べてトレーニングメニューを設定してください。

● 個人パラメータ



トレーニング設定画面で選手にカーソルをあわせて○ボタンを押すと、個人パラメータを見ることができます。個人パラメータには、基礎運動能力とプレイ能力の2つがあります。基礎運動能力（右側の9つ）は、トレーニングによって、成長させることができます。実際の試合でのプレイ能力（左側の8つ）は、いくつかの基礎運動能力の組合せによって決定されています。

※投手のプレイ能力は【モーション】（→P.14）によって決定されます。

プレイ能力

■長打力（PW） 打球の飛距離に関係します。

■ミート力（MT） ミートのうまさに関係します。

■バント（BN） バントのうまさに関係します。

■守備力（DF） 守備のうまさに関係します。

■送球（TH） 送球スピードに関係します。

■走力（RN） 走るスピードに関係します。

■スタミナ（ST） スタミナがなくなるとプレイ能力が低くなります。

■疲労（FT） スタミナやケガに関係します。

基礎運動能力

■脚力 走力や長打力に関係します。

■瞬発力 走力や守備力に関係します。

■筋力 長打力や守備力に関係します。

■肩力 送球に関係します。

■握力 ミート力やバントに関係します。

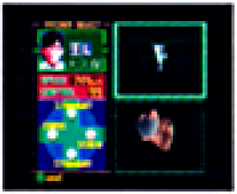
■反射神経 ミート力、バント、守備力に関係します。

■持久力 スタミナに関係します。

■精神力 チャンスやピンチのときのプレイに関係します。

■柔軟性 ケガのしやすさに関係します。

● モーション



ピッチャーのフォームとにぎりをエディットすることができます。フォームやにぎりをエディットすることでピッチャーのプレイ能力が変化します。**方向キーの左右**でピッチャーを選択、**上下**でフォーム/にぎりのどちらをエディットするか選択して○**ボタン**で決定します。

■フォームエディット



ピッチャーの投球フォームをエディットすることができます。試合では、この画面でエディットした通りのフォームで投球します。

投球フォームの中で、エディットできるタイミングと項目は決まっています。タイミングごとにモーションがストップし、項目の選択ウインドウが現れます。**方向キーの上下**で項目を選択、**左右**で内容を選択して**[OK]**を選択すると決定して次のタイミングに進みます。

※□**ボタン**を押しながら**方向キー**で、カメラアングルを変更できます。

EDIT 腕のふりあげの高さ、腰の高さ、歩幅などの項目をエディットします。

NATURAL そのタイミングでのモーションの速さを選択します。**[QUICK]**（はやい）/ **[NATURAL]**（普通）/ **[SLOW]**（おそい）と順に切り替わります。

TEST エディットされたフォームを確認します。

OK そのタイミングでのエディット内容を決定し、次のタイミングへ進みます。

■にぎりエディット

ボールのにぎりをエディットすることができます。
まず、球種を選択し、画面上のモデル（左）と、投球シミュレートウインドウ（右上）を見ながら、にぎりをエディットします。



EDIT にぎりの位置やにぎりの深さなどをエディットします。

TEST 投球テスト画面になります。

O K にぎりのエディットを終了し、投球エディットメニュー画面にもどります。

[TEST] を選択すると、投球テスト画面になり、実際のプレイのときに、どんなボールが投球されるかを確認することができます。

※□ボタンを押しながら方向キーで、カメラアングルを変更することができます。

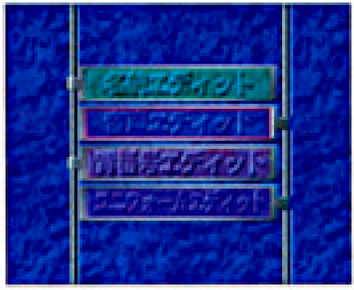
★ワンポイントアドバイス★

フォームエディットによってスピードとコントロール、にぎりエディットによってスピード、コントロール、変化球の曲がり方に関する能力が変化します。

ピッチャーはもともと投げられる変化球の球種が決まっていますので、個性をうまく生かして、また、配球のコンビネーションを考えて、投球エディットをしてください。

● エディット

メインメニュー画面で **【エディット】** を選択すると、選手の名前、音声、背番号、ユニフォームをエディットすることができます。





■名前エディット

選手の名前表記をエディットすることができます。ただし、名前の最大文字数は３文字、使用できる文字は画面にあるひらがなを使用したものに限られます。

まずひらがなアイコンで読みを入力し、次に **【変換】** アイコンを選択するか **△ボタン** を押して、右側のウインドウの中から変換候補を選択します。ひらがなにしたい場合でも、変換候補の中からひらがなを選択してください。
間違えたときは、**×ボタン** で１文字分もどすことができます。

名前の入力が終了したら、**【終了】** アイコンを選択してください。



■音声エディット

選手の名前は、試合中にウグイス嬢によってアナウンスされます。音声エディットでは、名前のアナウンスの読みと発音の高低をエディットすることができます。

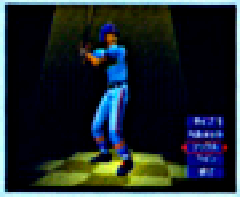
発音レベルバーを上下に移動させて発音の高低を設定してください。
のばす音がある場合は、高低以外にも **［のばす］** という設定ができます。
△ボタンで発音レベルバーの下のスイッチのON/OFFを切り替えてください。
例：「さいとお」→「さいとー」、「おおやま」→「おーやま」

レベルバーを選択しながら**○ボタン**を押すとその文字１文字を発音します。**［発音チェック］** を選択すると名前のアナウンスをチェックすることができます。**［よみがな変更］** を選択すると、名前表記に関係なく読みがなを変更することができます。



■背番号エディット

１番から１６番までの背番号をいれかえることができます。



■ユニフォームエディット

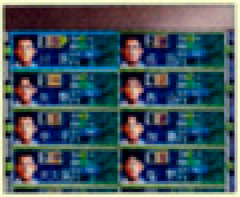
ユニフォームの **［タイプ］** / **［ヘルメット］** / **［ソックス］** / **［ライン］** を**方向キーの左右**で、それぞれエディットすることができます。

● データ

メインメニュー画面で**【データ】**を選択すると、個人データ、チームデータ、大会記録を見ることができます。



■個人データ



選手一覧画面で各選手のパラメータを確認できます。
L1（L2）/R1（R2）ボタンで個人パラメータの表示を切り替えることができます。

選手にカーソルを合わせて、**○ボタン**を押すと、個人データ画面が表示されます。



個人データ画面では、選手の公式戦での成績を見ることができます。
「通算」は入学してからの全ての公式戦、「今大会」は開催中、あるいは最近に開催された大会でのプレイ成績を表しています。
方向キーの左右で選手を切り替えることができます。

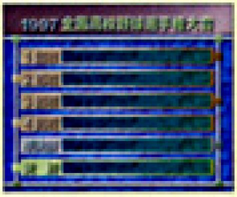
※勝敗数と防御率の成績は投手のみの成績です。

■チームデータ

チームデータを見ることができます。
チームデータには、「過去の甲子園大会での進出成績データ」/「最近に開催された公式戦での対戦スコアデータ」/「公式戦でのプレイ成績」の3つがあり、**方向キーの左右**で画面を切り替えることができます。

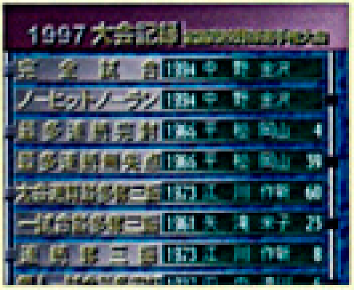
公式戦でのプレイ成績は、個人データと同じように「通算」、「今大会」の2種類のデータがあります。







■大会記録



甲子園大会での記録を見ることができます。
プレイをしているチーム(選手)がこの記録を更新した場合は、プレートの色が金色に変わります。

記録には選手権大会/選抜大会の2つがあり、**L1(L2)/R1(R2)ボタン**で画面を切り替えることができます。

● データのセーブ・ロード

データをセーブするためには、プレイステーション専用メモリーカード（別売）が必要です。

メモリーカード差込口１またはメモリーカード差込口２にメモリーカードを差し込んでください。
「甲子園Ｖ」のデータセーブには、メモリーカードの空きが２ブロック必要です。



■データセーブ

大会モードのプレイデータをセーブすることができます。

メインメニュー画面で**【セーブ】**を選択すると、セーブ画面になります。メモリーカードを選択し、○**ボタン**を押すと、データがセーブされます。

■データロード

大会モードで**【データロード】**を選択したときは、セーブしたところからのつづきをプレイすることができます。

メモリーカード選択し、○**ボタン**を押すと、データがロードされます。
対戦モードでも大会モードのデータをロードすることができます。対戦モードでの結果は、大会モードには全く影響しません。

● 対戦モード

1試合だけの対戦プレイをするモードです。コンピュータとの対戦や、2人での対戦をすることができます。

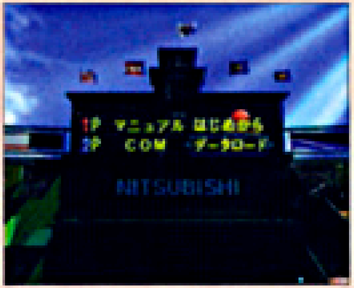
※2人でプレイするときは、コントローラが2個必要です。

1. 対戦形式セレクト

1P、2Pの順に操作方法を設定して対戦形式を選択します。以下の2つの中から操作方法を設定してください。

マニュアル コントローラで操作してプレイします。

C O M コンピュータが操作してプレイします。



コンピュータと対戦するときは【マニュアルvsCOM】、2人で対戦するときは【マニュアルvsマニュアル】、ゲームを観戦するときは【COMvsCOM】に設定してください。

2. チームセレクト

1P、2Pの順にチームを選択してください。

はじめから 大会モードと同じように、地区セレクト、高校セレクトで高校を選択します。

データロード 大会モードのデータをロードします。

ランダム コンピュータがランダムで高校を選択します。

● 試合

大会モード、対戦モードに関わらず、以下のような流れで試合をおこないます。

1. オーダーセレクト

試合での先発メンバー、ポジションを決定します。



オーダー

選手と選手をいれかえて、先発ピッチャー、先発オーダー、打順を決定します。
まず、交代される選手にカーソルをあわせて○**ボタン**を押し、次に交代する選手にカーソルをあわせて○**ボタン**を押してください。これで選手がいれかわります。

ポジション

ポジションマークをいれかえて、先発メンバーの守備位置を決定します。
いれかえの方法は**【オーダー】**と同じです。

試合開始

試合をはじめます。

2. 試合

大会モードでは、先攻/後攻をランダムで決定します。
対戦モードでは、1Pが先攻、2Pが後攻となります。

3. 試合結果表示

試合が終了すると、試合結果が表示されます。

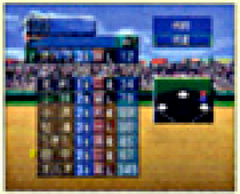
● 試合中の操作（選手交代）

試合中に**STARTボタン**を押すとタイムとなり、選手交代画面になります。

■選手交代（攻撃）　攻撃中に**STARTボタン**を押すと、代打、代走を選択できます。

代　打　代打をする選手を選択します。

代　走　代走をする選手を選択します。ランナーが２人以上いる場合は、**方向キーの左右**で何塁ランナーに代走を出すかを選択します。

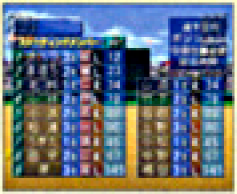


試合再開　試合を再開します。

■選手交代（守備）　守備中に**STARTボタン**を押すと、選手交代、ポジション変更、守備位置変更をすることができます。

選手交代　試合に出ている選手と控えの選手を交代します。

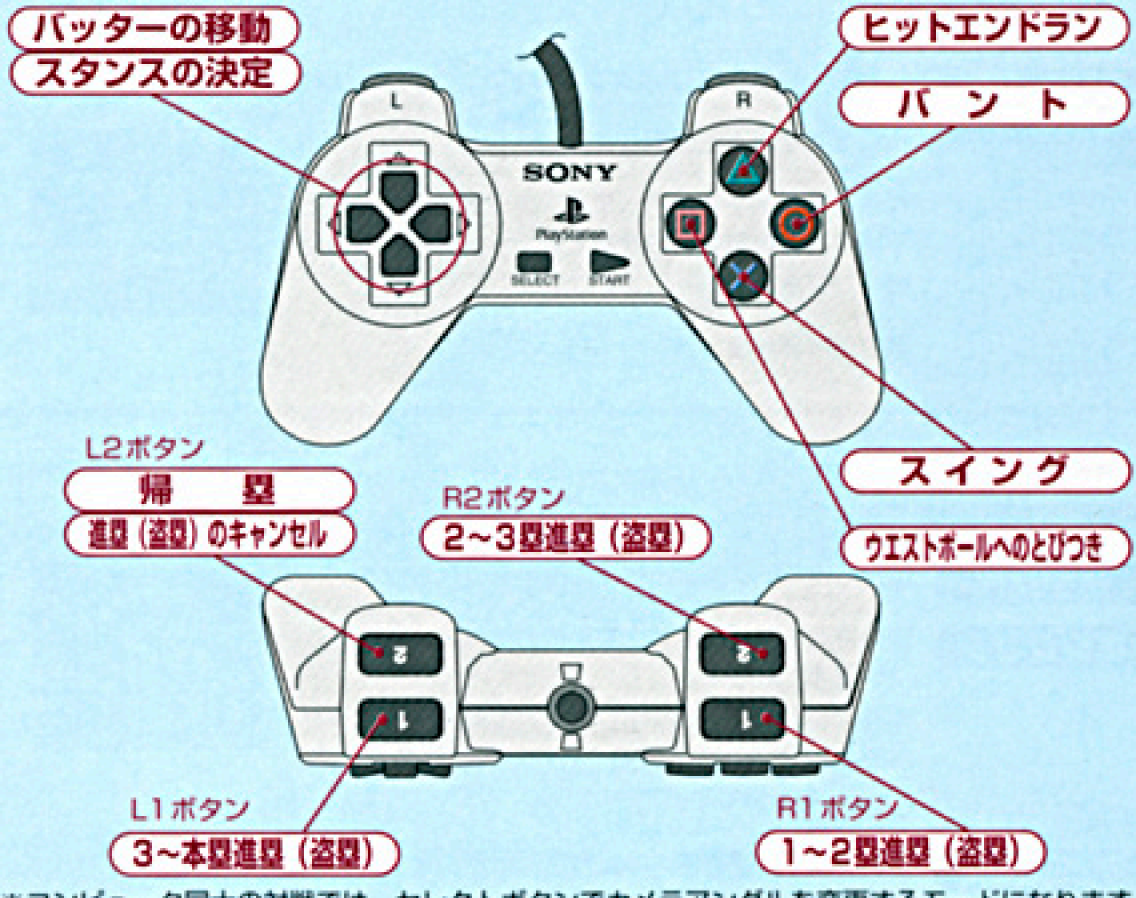
ポジション　守備位置を変更します。変更の方法はオーダーセレクト画面と同じです。
守備位置のシフトを設定します。**方向キーの上下**で内野/外野を選択し、**左右**で守備位置のシフト（前進/後退）を選択してください。



守備位置変更　守備位置のシフトは次の打者まで継続します。

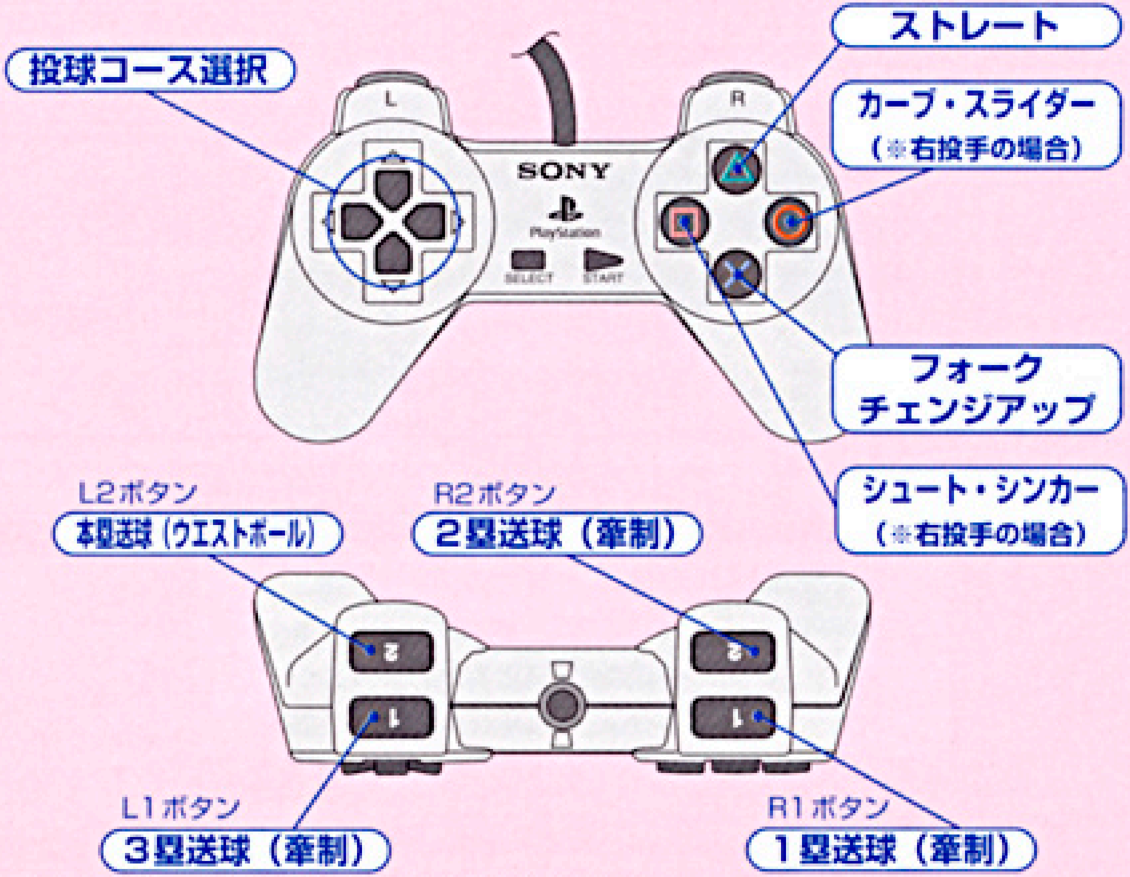
試合再開　試合を再開します。

● 試合中のコントローラ操作（攻撃側）



※コンピュータ同士の対戦では、セレクトボタンでカメラアングルを変更するモードになります。
※基本的な進塁/帰塁の操作はCPUが自動的に行います。

● 試合中のコントローラ操作（守備側）



※基本的な捕球/送球の操作はCPUが自動的に行います。

※ピッチャーによって、投げられる変化球の球種が決まっています。（→P.14）

使用上のご注意

●このディスクは家庭用ビデオゲーム・コンピュータ"PlayStation"専用のソフトです。他の機種でお使いになると、機器等の故障の原因や耳等の身体に悪い影響を与える場合がありますので絶対におやめください。●このディスクは NTSC J マークあるいは FOR SALE AND USE IN JAPAN ONLY の表記のある日本国内仕様の"PlayStation"にのみ対応しています。海外仕様の"PlayStation"では使用できません。●「解説書」および"PlayStation"本体の「取扱説明書」「安全のために」をよくお読みの上、正しい使用方法でご愛用ください。

●このディスクを"PlayStation"本体にセットする場合は、必ずレーベル面（タイトル等が印刷されている面）を上にしてください。また、中央部分を軽く押し込み、ディスクを安定させてください。●プレイ終了後"PlayStation"本体からディスクを取り出す場合は、本体のオープンボタンを押し、ディスクの回転が完全に止まったのを確認してから行ってください。回転中のディスクに触れると、けがをしたりディスクを傷つけたり本体の故障の原因になりますので、絶対におやめください。●ディスクは両面とも、指紋、汚れ、キズ等をつけないように取り扱ってください。またシール等を貼付したり、鉛筆、ペン等で文字や絵を書かないでください。●ディスクが汚れた時はメガネふきのような柔らかい布で、内周から外周に向かって放射状に軽く拭き取ってください。その時、レコード用クリーナーや溶剤等は使用しないでください。●ひび割れや変形したディスク、あるいは接着剤等で補修されたディスクは誤作動の原因になりますので絶対に使用しないでください。●直射日光のあたる場所、暖房器具の近く等高温の所には保管しないでください。また、湿気の多い所も避けてください。●ケースやディスクの上に、重いものを置いたり落としたりすると、破損しけがをすることがありますので絶対におやめください。●プレイ終了後はディスクをケースに戻し、幼児の手の届かない場所に保管してください。●お客様の誤ったお取り扱いにより生じたキズ、破損等に関しては補償いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

●"PlayStation"本体をスクリーン投影方式のテレビ（プロジェクション・テレビ）には絶対接続しないでください。残像光量による画面焼けが生じることがあります。●ソフトによってはメモリーカードが必要な場合があります。「解説書」で確認してください。

健康上のご注意

●プレイする時は健康のため、1時間ごとに約15分の休憩を取ってください。●疲れている時や睡眠不足の時はプレイを避けてください。●プレイする時は部屋を明るくし、なるべくテレビ画面から離れてください。●ごくまれに、強い光の刺激を受けたり、点滅を繰り返すテレビ画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失等の症状を起こす人がいます。こうした経験のある方は、事前に必ず医師と相談してください。また、プレイ中の画面を見ていてこのような症状が起きた場合は、すぐに中止し医師の診察を受けてください。